



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日
上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社
コード番号 3437 URL <http://www.tokuden.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上林 克彦
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 井嶋 正 TEL 06-6401-9421
四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,373	0.8	563	22.1	576	22.6	396	23.0
2019年3月期第2四半期	5,328	17.6	461	26.0	470	26.6	322	27.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 392百万円 (14.6%) 2019年3月期第2四半期 342百万円 (31.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	501.99	—
2019年3月期第2四半期	408.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	9,095	5,198	56.9	6,541.09
2019年3月期	8,811	4,837	54.6	6,086.18

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,171百万円 2019年3月期 4,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2020年3月期	—	35.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,730	△8.5	645	△12.2	658	△12.3	453	△13.0	573.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	801,000株	2019年3月期	801,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	10,453株	2019年3月期	10,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	790,547株	2019年3月期2Q	790,548株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が引続き見られ、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、米中の貿易摩擦の影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況の中にあって当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上やコスト削減を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新装置・機械、新製品・商品の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,373百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は563百万円（同22.1%増）、経常利益は576百万円（同22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は396百万円（同23.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、トッププレート工事、アルミダイカスト関連工事、粉碎ミル工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は3,820百万円（前年同四半期比12.3%増）、セグメント利益は684百万円（同37.5%増）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は264百万円（前年同四半期比15.3%増）、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は399百万円（同8.3%減）となり、溶接材料の合計売上高は663百万円（同0.1%減）、セグメント利益は107百万円（同3.7%増）となりました。

③ 環境関連装置

自動車産業用試験装置・検査装置の受注は増加しましたが、自動搬送車（AGV）による搬送ライン装置、自動車産業用粗材冷却装置等の受注が減少したことにより、売上高は512百万円（前年同四半期比41.1%減）、セグメント利益は63百万円（同49.1%減）となりました。

④ その他

自動車関連のダイカストマシーン用部品の受注が減少したことにより、売上高は376百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益は28百万円（同12.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,095百万円となり、前連結会計年度末に比べて284百万円増加しました。これは、現金及び預金49百万円の減少がありましたが、受取手形及び売掛金307百万円、半成工事96百万円の増加が主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,897百万円となり、前連結会計年度末に比べて75百万円減少しました。これは、短期借入金150百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金73百万円、賞与引当金93百万円の減少が主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,198百万円となり、前連結会計年度末に比べて360百万円増加しました。これは、利益剰余金365百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は56.9%（前連結会計年度末は54.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、1,191百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益575百万円に減価償却費の計上54百万円、退職給付に係る負債の増加25百万円などの資金増加要因がありましたが、賞与引当金の減少93百万円、売上債権の増加310百万円、たな卸資産の増加87百万円、仕入債務の減少86百万円、法人税等の支払額172百万円などがあり、99百万円の支出（前年同四半期は130百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の払戻による収入200百万円などの資金増加要因がありましたが、定期預金の預入による支出200百万円、有形固定資産の取得による支出50百万円などがあり、64百万円の支出（前年同四半期は55百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払による支出31百万円などの資金減少要因がありましたが、短期借入金の純増額150百万円があり、115百万円の収入（前年同四半期は32百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして現時点におきましては、2019年5月16日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,232	1,591,121
受取手形及び売掛金	3,551,988	3,859,268
電子記録債権	457,769	461,025
商品及び製品	603,458	588,113
半成工事	403,953	500,910
原材料及び貯蔵品	99,068	108,301
その他	98,783	85,121
貸倒引当金	△21,650	△21,766
流動資産合計	6,833,604	7,172,095
固定資産		
有形固定資産		
土地	982,280	982,280
その他（純額）	514,458	488,511
有形固定資産合計	1,496,738	1,470,792
無形固定資産	37,173	46,034
投資その他の資産	443,495	406,952
固定資産合計	1,977,407	1,923,779
資産合計	8,811,011	9,095,875
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,342,759	2,269,151
短期借入金	60,000	210,000
未払法人税等	191,004	168,550
賞与引当金	301,898	208,783
工事損失引当金	9,484	10,922
その他	335,260	282,424
流動負債合計	3,240,407	3,149,832
固定負債		
退職給付に係る負債	568,243	585,397
その他	164,572	162,343
固定負債合計	732,815	747,740
負債合計	3,973,223	3,897,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	4,043,502	4,408,731
自己株式	△40,273	△40,273
株主資本合計	4,882,854	5,248,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,298	△6,774
為替換算調整勘定	911	△1,150
退職給付に係る調整累計額	△74,655	△69,121
その他の包括利益累計額合計	△71,445	△77,046
非支配株主持分	26,379	27,265
純資産合計	4,837,788	5,198,302
負債純資産合計	8,811,011	9,095,875

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,328,167	5,373,443
売上原価	3,968,290	3,856,105
売上総利益	1,359,877	1,517,337
販売費及び一般管理費	898,406	954,092
営業利益	461,470	563,245
営業外収益		
受取利息	215	212
受取配当金	1,892	2,180
駐車場収入	1,445	1,514
受取保険金	651	5,070
その他	5,242	4,875
営業外収益合計	9,447	13,853
営業外費用		
支払利息	405	580
駐車場収入原価	459	456
営業外費用合計	864	1,037
経常利益	470,053	576,062
特別利益		
固定資産売却益	649	60
特別利益合計	649	60
特別損失		
固定資産除却損	307	817
特別損失合計	307	817
税金等調整前四半期純利益	470,395	575,304
法人税、住民税及び事業税	121,230	150,923
法人税等調整額	24,162	24,667
法人税等合計	145,392	175,590
四半期純利益	325,003	399,713
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,299	2,863
親会社株主に帰属する四半期純利益	322,704	396,849

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	325,003	399,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,636	△9,073
為替換算調整勘定	△1,178	△4,038
退職給付に係る調整額	5,640	5,534
その他の包括利益合計	17,097	△7,577
四半期包括利益	342,101	392,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,376	391,249
非支配株主に係る四半期包括利益	1,724	886

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	470,395	575,304
減価償却費	58,275	54,337
賞与引当金の増減額（△は減少）	△67,167	△93,124
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△2,456	25,105
受取利息及び受取配当金	△2,108	△2,393
支払利息	405	580
受取保険金	△651	△5,070
売上債権の増減額（△は増加）	△492,043	△310,097
たな卸資産の増減額（△は増加）	△78,378	△87,299
仕入債務の増減額（△は減少）	92,085	△86,447
未払金の増減額（△は減少）	△2,052	△11,870
その他	△29,585	6,831
小計	△53,280	65,855
利息及び配当金の受取額	2,060	2,400
利息の支払額	△405	△590
保険金の受取額	651	5,070
法人税等の支払額	△79,886	△172,208
長期預り金の返還による支払額	—	△328
営業活動によるキャッシュ・フロー	△130,859	△99,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△200,000
定期預金の払戻による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△51,835	△50,482
有形固定資産の売却による収入	650	60
無形固定資産の取得による支出	△3,262	△12,800
投資有価証券の取得による支出	△1,242	△1,286
その他	△119	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,809	△64,688
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	150,000
リース債務の返済による支出	△5,940	△2,358
配当金の支払額	△26,405	△31,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,345	115,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	△342
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△218,855	△49,110
現金及び現金同等物の期首残高	1,857,648	1,240,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,638,793	1,191,121

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。